

テーマ

ぼくらの大東七夕祭り その魅力を再確認しよう！！

事業実施地区（中学校区名）	雲南市立大東中学校
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	大東地区自治振興協議会 春殖地区振興協議会 幡屋地区振興会 佐世地区振興協議会 阿用地区振興協議会 久野地区振興会 塩田地区振興会

テーマの背景

少子化の時代を迎え、「大東子ども七夕祭」の運営に多くの課題があるが、440年余りも受け継がれてきたこの伝統行事は、地域・ふるさとの絆の証としてなくてはならない存在である。主役である子どもたちが魅力と誇りを感じながらいつまでも継承できるように、住民とともに取り組んでいく。

実際の取組

④ふるさとの魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を設定

事業名：生活科授業「七夕の学習」

<取組の概要>



大東小学校2年生児童27名とその保護者15名が、大東七夕祭りのシンボルである「すいか提灯」づくりをした。前段に祭りの歴史や提灯の作り方を学んだ後、和気あいあいとした雰囲気の中で提灯づくりを楽しんだ。指導に当たったのは、地域の祭保存会員の皆さんで、こうした学習はおよそ10年近く続けられている。

<成果と課題>

自分たちが実際にすいか提灯をつくることによって、伝統ある大東ならではの七夕祭りに興味と愛着を感じてもらった。児童の中には七夕行列をする宮以外の子も多く、その子どもたちが七夕行列の体験ができるような環境を更に整える必要がある。

④ふるさとの魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を設定

事業名：総合学習「ぼくらの七夕祭り」

<取組の概要>



平成30年度で「七夕フォトコンテスト」が25回目を迎えるに当たり、これまでの七夕祭りに取り組む子どもたちや地域住民の情景写真のうち、優秀作品を七夕祭りの歴史とともに写真集に収め、この写真集を活用した授業を大東小学校5年生36名を対象に実施した。

この授業を通して七夕祭りの魅力や大切さに気づいてもらった。

<成果と課題>

実施したアンケートでは「歴史が長く大切な行事であることが分かった」「全国的にめずらしい子ども七夕祭りとしていつまでも続けてほしい」「宮以外の出身だけれど、どこかの宮に入って行列に参加したい」「もっと宣伝して地区外・県外の人、外国人の参加を増やすと盛り上がる」などの意見が提出された。

一方、「行列が長くて大変だ」「行列の終わる時間が遅いので、夜店やイベントが楽しめない」などの意見もあり、検討することとした。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

今回初めて七夕写真集を活用した5年生総合学習に取り組んだが、自分たちの祭に対する楽しさや喜びを表現した写真で祭をより身近に感じ取れたようである。2年生の「すいか提灯」づくりとともに、5年生の写真集を活用した「ぼくらの七夕祭」学習も継続していきたい。

今後の展望

440年余りの伝統ある大東七夕祭りを今後とも継承していくためには、これまで取り組んでこられた地域の皆さんの力とともに、中学生や高校生のアイデアや意見を積極的に取り組んでいく必要がある。

そのためには、小学校はもとより、中学校、高校へ積極的に出かけていき、祭りの魅力を再認識するとともに「ぼくたち、私たちの七夕祭」として定着させていきたい。